

コーディネーターだより

姫戸在宅介護支援センター
0969-58-3633
生活支援コーディネーター 橋本

第12号 (令和4年11月)

秋を彩る 文化祭 ~園児から高齢者まで芸術の祭典~

この世代にしか出せない、素晴らしい歌声!



コロナ禍で中断していた文化祭が3年ぶりに開催。園児のひかり太鼓・小中学生の合唱・ピアノ・大正琴・二胡・三味線・コーラス・フラダンス・舞踊とステージは盛沢山のご披露に拍手が鳴り響いていました。正に「芸術の秋」でした。

展示コーナーではコロナ禍でも地道に活動を続けてこられた作品が所狭しと並べてありました。陶芸・手芸・刺繍・バック・絵手紙・色鉛筆画・木彫り工芸・生花コーナー等、目を楽しませていただきました。



ステージでは「さくらコール」の美しいハーモニー。

体験コーナー



ここは、
こうやって・・・

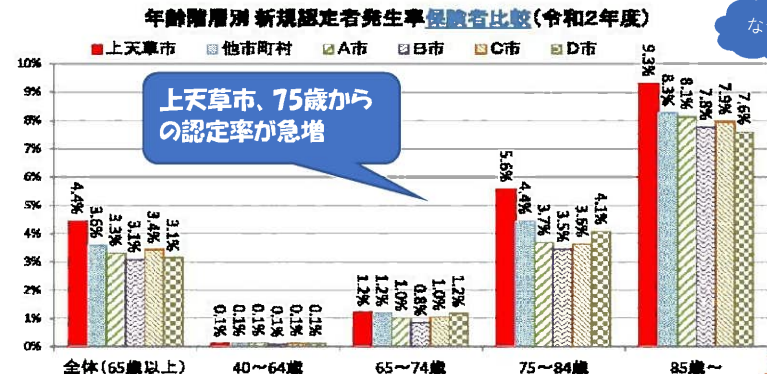
やってみませんか?

「絵手紙」「クラフト作り」「活け花」があり、興味深く体験を楽しまれていました。

元気で長生き!

社会参加してますか?

~人生100年時代~



元気で長生きしたいものです。

→そのためにはできる事を続けていく。

頭も体も動かして錆びないようにしましょう。!

キーポイント 外に出る



- 百歳体操 (通いの場・老人会)
- グランドゴルフ
- カラオケ、コーラス
- 趣味活動 (手芸・陶芸・盆栽)
- 家庭菜園
- 調理 (家事: 掃除・洗濯)

- 散歩
- 読書



「みつば会」のお知らせ

姫戸町の助け合い・支え合いを話し合う場です

今年度は「ごみ出し」について話し合っています。12月14日第3回開催予定

生きている限り、ゴミはつきものです。

週に2回 (火・金) の可燃ごみ。月1回の資源ごみ出し。

ゴミステーションに出せる内はいいのですが、いつか出せなくなる時がやってきます。

同居されている家庭は問題ありませんが、独居や高齢者世帯、近所が遠い、近所も高齢者等が増えています。代わって出してもらえ「仕組み作り」を、話し合っています。

又、「玄関先まで出せる体力を作ろう」を目標に、玄関先に出してあれば、代わって出しやすくするのは等、前向きに話し合っています。

出来る事を続けて、お互い様の精神で暮らしやすい姫戸町にしていきたいと思います!

伝承

受け継いで伝えていく

巫女舞(みこまい)

衣装合わせ

10月23日 秋の例大祭



疲れるけど
楽しい



少子高齢化・コロナ感染症
私たちの暮らしに
重くのしかかっています。
その様な中で「つなぐ」ことを
大事に守って、次世代へ伝えておら
れる地域の活動(宝)があります。



諏訪神社

夏休みから週に2~3回、
夜の7時から1時間、本郷公
民館で練習。指導する側も、
教えてもらう側も真剣。
本番では最高の舞が披露さ
れました。



諏訪神社・姫浦神社：時間差で移動し、ご披露。惜しめない拍手が練習の疲れを一掃していました。



大役を果たし、
満面の笑顔
ステキでした



地域の伝承 (永目)

子供神輿・子供山の神祭り・神送り、迎え(にぎりめし作り)

祭り・子供神輿



少子高齢化の筆頭
をいく永目地区。
しかし、伝統行事
を何とかつなげて
いきたいと地域全
体で話し合い・協
力し合って、成り
立っています。

子供会は小学生
の男女で6名



子供山の神祭り



竹切り出し・道作り



消防団による消火活動・交通整理
有志によるせんざい作り



「山の神祭り」は男の子の祭りで一大イベントだったそうです。
小中学生の男子だけが「宿」と言われる家に全員が寝泊まりし、祭りの晩に山の神の祠にオコゼやお餅
をお供えし、山で火たきをしていたそうです。「宿」は交代で食事の用意や場所を提供されていた。
約50数年前に山火事と間違えられてからやむなく縮小されたと聞いています。

神送り・迎えのおにぎり 作り (神無月)

(旧暦の9月30日・11月1日)



以前は隣保班で集まり、おにぎりを作って持ち寄り十
五社宮にお参り、神様が行き来される夜中まで歌った
り、踊ったりして過ごしました。
おにぎり作りが隣保班で作れる班が限られてきたため、
公民館に集まって作る方向に変わりました。コロナ禍
ではお饅頭に替えてお供えし、役員等に制限して行な
われました。去年から有志でおにぎり作りが再開され
喜ばれています。